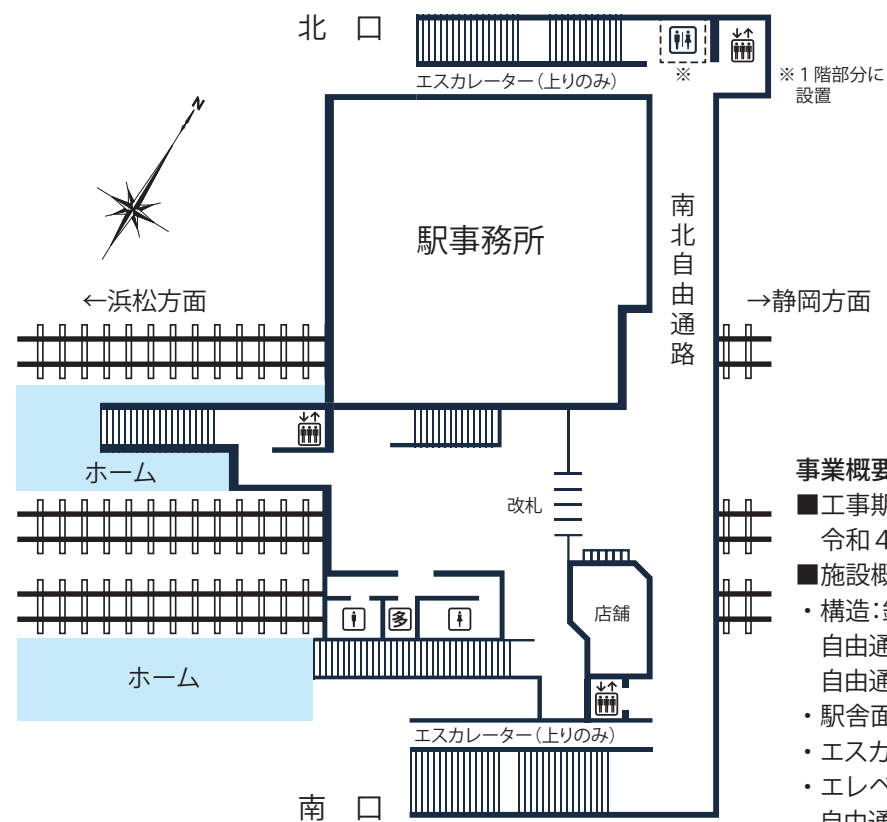




※現時点での計画となるため、変更となる可能性があります。

事業概要

- 工事期間
令和4年度～令和9年度
- 施設概要
 - ・ 構造：鉄骨造2階建て
 - ・ 自由通路幅員：4m
 - ・ 自由通路延長：およそ90m
 - ・ 駅舎面積：およそ1,100㎡
 - ・ エスカレーター：上り2基（南北各1基）
 - ・ エレベーター（11人乗り）：3基（駅舎内1基、自由通路内2基※うち1基は通路と駅舎の兼用）



北側からのイメージ

いよいよ本年度から着手 菊川駅が生まれ変わります

市が進めている南北自由通路整備事業は、令和4年4月1日にJR東海と工事協定を締結し、本年度から着手します。
本号では、新しい駅舎の概要や工事スケジュールなどをお知らせします。

問い合わせ 都市計画課都市計画係 ☎35-0932



南北自由通路および新駅舎外観 南側からのイメージ

工事スケジュール

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9
詳細設計	■	■				
仮設工事		■	■	■		
自由通路新設工事			■	■	■	
南口駅前広場整備 仮駅舎撤去				■	■	■
北口駅前広場整備					■	■

※進捗状況により変更となる可能性があります。



工事期間中は 駅前広場の一部が 使用できなくなります

工事期間中は、駅前広場の一部が工事ヤードとなることで、使用できない期間があります。関係車両の通行に際して、安全に留意するとともに、駅利用者が集中する時間帯を避けるなどの配慮を行います。詳細は、決定次第お知らせします。

Q & A

Q：現在の駅舎はどうなるのですか。

A：自由通路を新設するため、線路の上に移転（橋上化）します。既存駅舎は、仮駅舎建築後に解体します。

Q：工事期間中、駅前広場は使えますか。

A：工事期間中は、駅前広場東側の一般車送迎ゾーンが工事ヤードとなるため使用できなくなります。仮乗降場をご利用ください。詳細は、決定次第お知らせします。

Q：工事期間中、駅の改札はどこになるのですか。

A：現在の改札の少し西側に仮駅舎を建築しますので、仮駅舎内の改札をご利用ください。



南北自由通路のイメージ

生まれ変わる市の玄関口

JR 菊川駅は、南北自由通路の整備によって、24時間自由に南北を行き来できるようになります。また、北側からも鉄道への乗降が可能になり、利便性が向上します。自由通路と駅舎は、自然光を多く取り入れ、自然やまちの風景を感じる明るく開放的な雰囲気とします。階段・通路などの移動空間は、ゆとりある幅や歩きやすい段の高さとし、設備の配置や動線計画など細部にわたりユニバーサルデザインに配慮。「思いやり」のあるデザインとし、誰もが安心・安全に利用できる駅を目指します。市の顔にふさわしいJR 菊川駅の形成を図ることで南北をつなぎ、まちをつなぎ、人の「わ」を広げていきます。

デザインコンセプト

プラザきくる（庁舎東館）との連続性
＋
自然と人の営みが生み出す連続性
▼
駅南北をつなぎ、まちをつなぎ、
人の「わ」をひろげる

プラザきくるとの連続性を考慮して、白色をメインカラーとしデザインの統一を図りました。令和2年度に開催した高校生デザインワークショップ（常葉大学附属菊川高等学校・小笠高等学校）での意見、県景観アドバイザーからのアドバイスを参考に、市の代表的な原風景を表現。自由通路のガラス窓は茶園の連続性を、なだらかな駅舎全体は小笠平野を、階段部分の3段の大底は上倉沢の棚田をイメージしました。

